

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 5 区分

【発行日】平成25年9月5日 (2013.9.5)

【公表番号】特表2013-529577(P2013-529577A)

【公表日】平成25年7月22日 (2013.7.22)

【年通号数】公開・登録公報2013-039

【出願番号】特願2013-517275(P2013-517275)

【国際特許分類】

B 6 0 R 21/203 (2006.01)

B 6 0 R 21/2338 (2011.01)

B 6 0 R 21/231 (2011.01)

【F I】

B 6 0 R 21/203

B 6 0 R 21/231 3 0 0

B 6 0 R 21/231

【手続補正書】

【提出日】平成25年7月22日 (2013.7.22)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

自動車のハンドル用エアバッグ装置であって、

自動車の乗員を保護するための膨張可能なエアバッグを含み、

前記エアバッグは、膨張し車内に取り付けられると、或る部分にくぼみを有し、そのくぼみはハンドルの正面位置で自動車の床を指し、エアバッグの膨張を前記乗員の胸部の下に伸びる身体部分の方向で低減し、前記乗員の前記エアバッグの衝突の間、前記身体部分にかかる負荷は最小化されるようになり、

前記エアバッグが膨張し車内に取り付けられると、保護されるべき自動車の乗員の胸部に面する前記エアバッグの一部が、胸部くぼみを含み、その結果、前記自動車の乗員の胸部の負荷を最小化し、

前記胸部くぼみはテサーによって生成され、該テサーは、前記エアバッグの内部に伸び、前記テサーは、前記エアバッグが膨張すると、前記ハンドルに面する前記エアバッグの一部と、前記ハンドルから離れている前記エアバッグの一部との間に伸びる、

エアバッグ装置。

【請求項 2】

前記くぼみのため、膨張したエアバッグは第 1 中間部を有し、前記第 1 中間部は、自動車垂直方向に沿って見て、前記エアバッグの前記第 1 中間部に隣接して配置される第 2 部分よりも自動車の床に向かってより小さな膨張を有する、請求項 1 記載のエアバッグ装置。

【請求項 3】

自動車のハンドル用エアバッグ装置であって、

自動車の乗員を保護するための膨張可能なエアバッグを含み、

前記エアバッグは、膨張し車内に取り付けられると、自動車の床に面する表面を含み、前記表面は、自動車長手方向と自動車横方向とによって張られる平面に実質的に平行に広がり、

前記エアバッグが膨張し車内に取り付けられると、保護されるべき自動車の乗員の胸部に面する前記エアバッグの一部が、胸部くぼみを含み、その結果、前記自動車の乗員の胸部の負荷を最小化し、

前記胸部くぼみはテサーによって生成され、該テサーは、前記エアバッグの内部に伸び、前記テサーは、前記エアバッグが膨張すると、前記ハンドルに面する前記エアバッグの一部と、前記ハンドルから離れている前記エアバッグの一部との間に伸びる、エアバッグ装置。

【請求項 4】

自動車のハンドル用エアバッグ装置であって、

自動車の乗員を保護するための膨張可能なエアバッグを含み、

前記エアバッグは、膨張し車内に取り付けられて、自動車垂直方向に沿って自動車の床の方へ見たとき、ハンドルのハンドルリムを越えて広がらない、

請求項 3 記載の装置。

【請求項 5】

前記胸部くぼみは平面の底部を含む、請求項 1 又は 3 記載のエアバッグ装置。

【請求項 6】

前記胸部くぼみは長手方向の底部を含む、請求項 1 又は 3 記載のエアバッグ装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0036

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0036】

本発明は、また、本発明に係るエアバッグ装置を含むハンドルに関連する。

なお、ハンドルに面するテサーの端部が、ハンドルから離れている端部よりも細くなり得る。

また、テサーが広がる平面は、ステアリング軸と自動車垂直方向とによって張られる平面に関して、部分的に斜めに方向づけられ得る。

テサーは或る平面に少なくとも部分的に沿って広がることができ、平面はくぼみを通るように方向づけられる。

胸部くぼみは、少なくとも 2 つのテサー、又は、少なくとも 1 つのテサーの 2 つの部分によって生成されることができ、エアバッグの膨張状態で、ステアリング軸と自動車垂直方向とによって張られる平面の異なる側に配置される。

ハンドルから離れているテサーの 2 つの部分の端部が、ねじり又は曲げを介して、互いに統合的に接続され得る、そして、前記テサーは、ねじり又は曲げの範囲で前記エアバッグに接続され得る。

少なくとも 2 つのテサーは、平面の各側に配置され得る。

テサー、又は、テサーの部分は、ステアリング軸と自動車垂直方向とによって張られる平面に関して、対称に配置され得る。